

報道関係各位

平成 20 年 10 月 16 日

## 不整脈・狭心症治療剤「ベプリコール<sup>®</sup>錠 50mg・100mg」 効能追加承認のお知らせ

シェリング・プラウ株式会社(本社:大阪市中央区、社長:鳥居正男)は、10月16日、不整脈・狭心症治療薬「ベプリコール<sup>®</sup>錠 50mg・100mg」(一般名:ベプリジル塩酸塩水和物)が、「他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合の持続性心房細動」の効能追加の承認を取得しましたのでお知らせします。

「ベプリコール<sup>®</sup>錠 50mg・100mg」は、「他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合の頻脈性不整脈(心室性)及び狭心症」の適応をもつ不整脈・狭心症治療剤として、平成5年に発売されました。(販売元: 現 第一三共株式会社)

このたびの持続性心房細動については、医師主導治験による二重盲検比較試験(プラセボ対照)が実施され、承認申請後、厚生労働省の優先審査品目に指定されていました。

「ベプリコ - ル<sup>®</sup>錠 50mg・100mg」は、心筋細胞の  $K^+$ 、 $Ca^{2+}$ 、 $Na^+$  チャンネル遮断作用のほかに、 $Na^+$  /  $Ca^{2+}$  交換機構の抑制作用を併せ持ち、従来心房細動治療薬と異なるマルチチャンネル遮断薬として、特徴的な作用機序を有することから、心房細動治療の選択肢が広がります。

「ベプリコール<sup>®</sup>錠 50mg・100mg」(製造販売元:シェリング・プラウ株式会社)は、今後も引き続き、適正使用を重視し、第一三共株式会社が販売いたします。

以上

### 【参考】

「ベプリコ - ル<sup>®</sup>錠 50mg・100mg」の作用機序について

「ベプリコ - ル<sup>®</sup>錠 50mg・100mg」は抗心房細動作用として、主に各種  $K^+$  チャンネル遮断作用により、心房筋及び心室筋細胞の活動電位持続時間を延長し、不応期を延長することによって、心房細動停止効果や再発防止効果を示します。また、主に  $Ca^{2+}$  チャンネル遮断作用(心筋細胞の L 型  $Ca^{2+}$  チャンネルのほかに T 型  $Ca^{2+}$  チャンネル)により、頻脈・頻拍を徐拍化します。

本件に関するお問合せ先

広報室 吉村 喜予子 / 田村 洋美 tel:03-6901-1212 / fax:03-6901-1211